

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課： 道路局 国道・技術課

担当課長名： 西川 昌宏

事業名	一般国道 23 号 中勢道路				事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局	
起終点	自：三重県鈴鹿市北玉垣町 至：三重県松阪市小津町					延長	33.8km		
事業概要									
一般国道23号中勢道路は、三重県鈴鹿市北玉垣町から松阪市小津町に至る延長33.8kmのバイパスであり、一般国道23号現道の交通渋滞の緩和、災害に強い道路機能の確保、地域産業の支援を目的に計画された道路である。 並行する現道23号には主要渋滞箇所（2区間・9箇所）が存在するほか、巨大地震による津波浸水が予測されるなど、多くの課題が存在している。 本事業は、課題解決のため、バイパスを整備することで、現道の渋滞緩和、リダンダンシーの確保等の効果を見込んでいる。									
S59年度～H19年度 （順次事業化）			S58年度都市計画決定		S61年度用地着手		S63年度工事着手		
全体事業費		約2,068億円		事業進捗率 （令和7年3月末時点）		約96%		供用済延長 33.8km	
計画交通量		47,800台／日							
費用対効果分析	B/C	EIRR	総費用			総便益		基準年	
	（事業全体）	（事業全体）	（残事業）/（事業全体）			（残事業）/（事業全体）			
	2.1(3.0)	5.8%	1,173/7,791億円			8,120/15,980億円			
	参考 3.6(4.3) [2%]	(7.3%)	事業費：913/7,235億円			走行時間短縮便益：6,846/13,510億円		令和7年	
	4.9(5.5) [1%]		維持管理費：260/ 507億円			走行経費減少便益：1,024/ 2,037億円			
	（残事業）	（残事業）	更新費：0/ 49億円			交通事故減少便益：250/ 433億円			
感度分析	6.9(14.3)	19.9%	（事業全体）			（残事業）			
	参考 9.8(16.2) [2%]	(34.1%)	交通量	B/C=1.8～2.3(±10%)		交通量	B/C=6.2～7.6(±10%)		
	11.7(17.2) [1%]		事業費	B/C=2.0～2.1(±10%)		事業費	B/C=6.4～7.5(±10%)		
			事業期間	B/C=1.9～2.2(±20%)		事業期間	B/C=6.3～7.5(±20%)		
事業の効果等									
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等の旅行速度の改善が期待される。 ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（三重交通）が存在する。									
②物流効率化の支援 ・国際拠点港湾（四日市港）へのアクセス向上が見込まれる。									
③国土・地域ネットワークの構築 ・日常活動圏中心都市間（四日市市～津市）のアクセス向上が見込まれる。									
④個性ある地域の形成 ・みえリニア戦略プラン（仮称）に位置付けられている。 ・主要な観光地（鈴鹿サーキット）へのアクセス向上が期待される。									
⑤災害への備え ・三重県緊急輸送道路ネットワーク計画における第一次緊急輸送道路として位置付けられている。 ・緊急輸送道路（国道23号）が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する									
⑥地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。									
⑦生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。									

